



2008 G8 北海道洞爺湖サミット開催記念イベント

こども環境サミット札幌

Children's World Summit for the Environment in Sapporo

開催企画書

2008.1

環境省・札幌市

主役は、未来に生きる「子どもたち」。 世界に誇る環境都市を目指す札幌市から、明日の地球へ夢をのせて。

「こども環境サミット札幌」は、日本と海外の子どもたちが集い、子どもたちが主体的に地球環境の未来を考える場です。北海道洞爺湖サミットの開催と連動し、2008年6月に札幌市で開催します。

国境や人種をこえて。子どもたちが力を合わせ、ともに学び、考え、行動。 自分たちが想いを込めた環境へのメッセージを、世界の人々の心に届けます。

「地球の未来へ、いま、僕たち・私たちにできること」をメインテーマに、「環境問題」について考えるレクチャータイムや会議（ディスカッション）、ワークショップ、施設見学、フィールドアクティビティなど様々なプログラムを通じて交流し、チームワークと友情を育む中で、地球環境を守ることの大切さをくこども環境サミット札幌・メッセージ>として国内外に発信します。

メイン会場は、札幌市が世界に誇る環境と芸術文化が調和した施設「モエレ沼公園」。

かつてのごみ埋め立て地であった荒廃地を、世界的な彫刻家イサム・ノグチが設計して見事な芸術緑地空間として蘇えらせたモエレ沼公園をメイン会場として開催します。イサム・ノグチが設計したモニュメントとランドスケープの一つ一つが、子どもたちの無限の創造力を引き出します。その他、札幌市内の施設等を見学し、豊かな自然環境と都市機能が調和する札幌市の姿や環境活動のための実践的な学びの機会を通じて、子どもたちの知的好奇心を刺激します。

「環境首都・札幌」宣言と連動し、こども環境サミット札幌・メッセージへ。

札幌市では、この恵まれた環境を次世代に引き継ぐため、札幌市の環境にかける姿勢や先進的取り組みを国内外へ発信し、トップランナーを目指して「環境首都・札幌」宣言を行います。また、市民の自主的な環境配慮行動の促進及び国内外へ宣言の発信を推進するため「さっぽろ地球環境憲章」を制定します。

市民総意による発信を目指すこの「環境首都・札幌」宣言の考え方は、くこども環境サミット札幌・メッセージ>にも受け継がれていきます。

名称

2008 G8 北海道洞爺湖サミット開催記念イベント こども環境サミット札幌

開催の狙い

日本と海外の子どもたちが交流することで、子どもたちが自ら地球環境の大切さを認識し、環境への意識を高めるため、2008 G8 北海道洞爺湖サミットの記念事業として実施します。この事業をもとに、札幌市および日本の子どもたちに対しても、環境意識の向上にむけた波及効果を創造します。また「環境首都・札幌」宣言の市民式典と連動（予定）して、子どもたちの意見を「こども環境サミット札幌」のメッセージとして世界へ向けて発信します。札幌市が誇る自然が豊かな都市環境を、市民をはじめ全国レベルで再認識し、次世代を担う世界の子どもたちに引継ぎます。

開催テーマ

「地球の未来へ、いま、僕たち・私たちにできること」

開催概要

■開催期間：2008年6月27日（金）～6月29日（日）

■メイン会場：モエレ沼公園（札幌市東区モエレ沼公園 1-1）

■サブ会場：サッポロさとらんど（札幌市東区丘珠町 584-2）
札幌サンプラザ（札幌市北区北 24 条西 5 丁目）他

■主催：札幌市

■共催：環境省

■後援：外務省、北海道、北海道洞爺湖サミット道民会議、関係各国大使館 他（予定）

■協力：財団法人青少年女性活動協会、財団法人札幌国際プラザ（予定）

■参加者層：2008年度に11歳～15歳となる児童・生徒
（小学校5年生以上～中学校3年生以下）

■参加者数（予定）：①海外／合計約40人＋引率者
②日本国内／合計約60人＋引率者
【合計約120人】

■参加国（予定）：アメリカ、中国、ロシア、ドイツ、韓国、
フィリピン、タイ、インド、シンガポール、オーストラリア

◆メイン会場《モエレ沼公園》について



モエレ沼公園は「札幌市環状グリーンベルト」構想の北部系緑地の核となる都市公園です。ごみ処理場として利用した後、1982年から公園造成を開始。1988年には、彫刻家イサム・ノグチが計画に参画し基本設計が策定されました。ノグチによる「公園をひとつの彫刻」とするダイナミックな構想により造成が進められ2005年7月1日にグランドオープン。コンセプトは「アート」「自然」「遊び」。広大な芝生広場や人工のモエレ山、海の噴水など変化に富んだ施設群の中に、ガラスのピラミッドが子供たちを迎えます。主な施設としてイサム・ノグチがデザインした120基以上の遊具のある7ヶ所の「遊具エリア」や石狩平野を囲む山脈を一望できる高さ50mの「モエレ山」や30mの「プレイマウンテン」「サクラの森(5月)」「モエレビーチ(6月～9月)」「テニスコート」「野球場」「陸上競技場」「野外ステージ」「ミュージックシェル」などがあります。モエレ沼公園は、札幌の都心部から約10km、車でおよそ30分のところにあります。



こども環境サミット札幌

Children's World Summit for the Environment in Sapporo

2008.6

青い線で描いた地球。そこに、空または大地を色で表すシンプルなプレートをあしらったデザインです。

マークの中には「札幌に集おう」というスローガンが入っています。

色のトーンはヴィヴィットで元気な印象です。

2008 G8 北海道洞爺湖サミット開催記念イベント **こども環境サミット札幌**

前日	1 日目	2 日目	3 日目
6/26 (木)	6/27 (金)	6/28 (土)	6/29 (日)
札幌サンプラザ内	モエレ沼公園内	モエレ沼公園内	モエレ沼公園内
●海外参加者会場入り ●日本参加者会場入り ●受付	開会式 [ガラスのピラミッド]	会議 [ガラスのピラミッド]	会議・総括会議 [ガラスのピラミッド]
オリエンテーション	レクチャータイム [ガラスのピラミッド]	ワークショップ [ガラスのピラミッド]	「メッセージ」発表 [ガラスのピラミッド]
	会議 [ガラスのピラミッド]	札幌市内	閉会式 [ガラスのピラミッド]
	ワークショップ [ガラスのピラミッド] フィールドアクティビティ [施設全体]	札幌市内見学 (環境学習)	フェアウェルパーティ コミュニケーションプログラム
	サッポロさとらんど	市内ホテル	
	キックオフイベント コミュニケーションプログラム [サッポロさとらんど]	ワークショップ・セミナー [札幌サンプラザ]	

国境や人種を超えた交流の場として、グローバルな視点から子どもたちへ伝えます。

6/27 (金)

レクチャータイム (講義の時間)

環境問題においてグローバルな視点から子どもたちにもわかりやすく伝えることができる著名人を迎えたレクチャータイムで、子どもたちの3日間の活動がより成果を生むように導きます。環境問題への考えを深く掘り下げ、わかりやすく伝える事で、参加している子どもたちの活発なディスカッションを促します。

《 講 師 》



野口 健 (のぐち けん)

1973年8月21日、アメリカ・ボストン生まれ。アルピニスト。
 高校時代に登山を始める。1999年、エベレストの登頂に成功し、
 7大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立。
 また2007年5月にはエベレストを中国側(名称:チョモランマ)から登頂に成功。
 ネパール側ならびに中国側から登頂に成功したのは日本人では8人目である。

2000年からはエベレストや富士山での清掃活動を開始。
 以後、全国の小中学生を主な対象とした「野口健・環境学校」を開校するなど
 積極的に環境問題への取り組みを行っている。
 現在は、清掃活動に加え新たに地球温暖化に対する取り組みに力を入れており、
 2007年12月に大分県にて開催される「アジア・太平洋水サミット」の運営委員として、
 「温暖化による氷河の融解」を取り上げる先導役を務めるとともに、
 各国元首級への呼びかけなど精力的に行っている。

学ぶ、考える、行動する。3日間の様々な体験と交流の集大成として「メッセージ」を発信します。

会議 (ディスカッション)

モエレ沼のコンセプト「アート・自然・遊び」を身近に感じながら、各国の子どもたちが自国の自然環境のレポートや学校や暮らしの中での身近な環境問題を持ち寄り発表し、子どもたちの視点から環境改善のアイデアや意見の交換を行います。各国から参加した子どもたちが話し合いを通じて活発に交流することで、他人を尊重し、大切にするという気持ちを育むと共に、より積極的な環境への取り組みを促します。



札幌市内 見学 (環境学習)

札幌市内の施設を見学し、自然との共生や環境活動について体験を通じて実践的に学びます。



ボランティア・市民との交流



ディスカッション等では、各種国際大会で活躍したボランティア通訳がサポートすると共に、子どもたちと市民レベルの交流を創出します。

コミュニケーションプログラム

キックオフイベントやフェアウェルパーティは、北海道や札幌ならではの様々な文化や人との出会い、ふれあいの機会となります。さくらんどうでは、参加者と札幌市民が交流します。北海道の食材を使った料理でパーベキューや、よさこいソーランの演舞、自然の灯りを感じるキャンドルナイトなどを計画中です。



6/29 (日) こども環境サミット札幌 『メッセージ』の発信



3日間の活動・交流の集大成として、世界中から参加した子どもたちが、明日の地球へ夢をのせて、地球環境を守ることの大切さを『こども環境サミット札幌・メッセージ』にまとめ、世界の人々へ発信します

ワークショップ

自然保護の大切さやごみ問題への理解を深めるために、エコを題材にした工作教室や屋外でのネイチャーゲーム等、体験型のプログラムを実施します。



フィールド アクティビティ



モエレ沼公園に点在する自然の中での野外活動を通じて、チームワークを育みます。

- 食事：日本の食文化に触れると共に、北海道ならではのスイーツ等の体験を予定。
- 宿泊：参加者が一堂に集い宿泊します。



2008年7月に、サミットが開催される北海道は、
自然豊かな大地と澄んだ大空で、世界の子どもたちを迎えます。
北海道の政治・経済・文化の中心都市である札幌市は、
北方圏の拠点都市として、人口189万人を擁する都市へと成長を続けてきました。
常に新しい時代に対応した世界に誇れる環境都市を目指しています。
是非、来年はこの札幌に来ていただき、日本の子どもたち、札幌の子どもたちと交流を深め、
将来の地球環境のことを皆さんと一緒に考え、世界へ発信しましょう。
皆さんと札幌でお会いできることを、楽しみにしています。